

トランスフォーマー

最後の騎士王

IMAX[®] 3D について

現在の映画業界では、
ほかでは決して味わうことのできない
唯一無二の映像体験をファンに届けるため、
世界の最先端をいく映画製作者たちがこぞって
IMAX[®]のフォーマットを自身の作品に取り入れるという
トレンドが定着しているが、このたびマイケル・ベイ監督より、
新作『トランスフォーマー／最後の騎士王』の大半の
撮影においてIMAX[®]のカメラを採用したという発表があった。
世界で最も革新的な映画製作者の1人であるマイケル・ベイ監督は
『トランスフォーマー／最後の騎士王』の
撮影において、3D撮影用のリグに
最新のALEXA IMAX[®]カメラを2台搭載する
という初の方式によって撮影を行い、
これまでにない迫りに満ちた3D映像が完成した。

そのIMAX[®]カメラの
威力を徹底解剖!



Q & A

『トランスフォーマー／最後の騎士王』をIMAX 3Dで体験すべき理由とは？



マイケル・ベイ監督は最初から3D上映を想定して「トランスフォーマー／最後の騎士王」を撮影しており、全体の98%にIMAXカメラを使用。オートボットたちのアクションの中へ叩きこまれるような、これまでにないリアルな体験を楽しめます。

また、IMAXシアターでは、IMAXカメラで撮影したシーンをスクリーンいっぱい広がる映像として上映するため、より広い視界を楽しめ、息をのむ高画質と驚きの迫力の3D効果により、映画の世界に一体化するような映像体験を味わえます。

新しいIMAX 3Dデジタルカメラは、通常のカメラとどう違う？



本作では、2種類のIMAXカメラを使用。IMAX 3Dデジタルカメラと、3Dリグに搭載された2台のALEXA IMAXカメラです。

IMAX 3Dデジタルカメラは、世界初のデュアル4Kデジタル・ラージフォーマット3Dカメラで、驚きの高画質による撮影が可能で、カメラ自体の重量は他の3Dデジタルカメラの半分以下。IMAX 3Dデジタルカメラは、マイケル・ベイ監督のような映画製作者にとって、2Dのデジタルカメラ並みの手軽さによる撮影を可能にしたカメラなのです。

また、監督は最新のALEXA IMAXカメラを3Dリグに2台搭載して撮影するという世界初の試みを行いました。このALEXA IMAX 65ミリカメラとは、IMAX®のフォーマットで作品を発表する世界トップクラスの映画製作者のため、ARRI社とIMAX社がパートナーシップを組んで開発した次世代の2Dデジタルカメラ。IMAXのデジタル・リマスタリング・プロセスと組み合わせることで最高のクオリティでデジタル映像を記録することが可能となり、シャープでクリアな画質、緻密なディテールと鮮やかな色合い、そして幅広いダイナミックレンジによって実現した豊かなコントラストで表現される、息をのむほどリアルな映像の上映を可能にしました。

IMAXシアターでは、このカメラによって撮影された映像はスクリーンいっぱいに広がります。これまでにないほどシャープでクリア、かつ豊かな色合いの映像に、大迫力の3D効果が加わり、その映像体験はまるで映画の中の世界と完全に一体化してるよう！

IMAXでは、どうやって広い画面アスペクト比を上映する？



上映用スクリーンの縦と横の比率を、専門用語でアスペクト比と言います。現在、ほとんどの映画は“シネマスコープ”と呼ばれるアスペクト比(2.4対1)で上映されていますが、シネマスコープ方式で上映される場合は、画面が部分的にカットされてしまうため、撮影時にカメラがとらえた映像のすべてをスクリーンに映し出すことはできません。通常のスクリーンが横長で、あまり高さが無いのはこの方式で上映しているためです。ちょうど、世界を細長いのでき穴から見ているような感じです。

IMAX社はIMAX方式のアスペクト比での上映を可能にする環境を提供しているため、映画製作者は撮影した映像を、よりオリジナルに近い形で使用できます。撮影では超高解像IMAXカメラを使用し、またポストプロダクションの課程においては映像を部分的にカットすることなく編集することが可能です。

また、IMAX®シアターでは「トランスフォーマー／最後の騎士王」の多くの場面で広いアスペクト比にて上映。画面は26%広くなり、まるで映画の中に入り込んでいくようなIMAX 3Dの世界を体感できます。